



## 県南広域振興局 環境かわら版

平成26年9月第2号

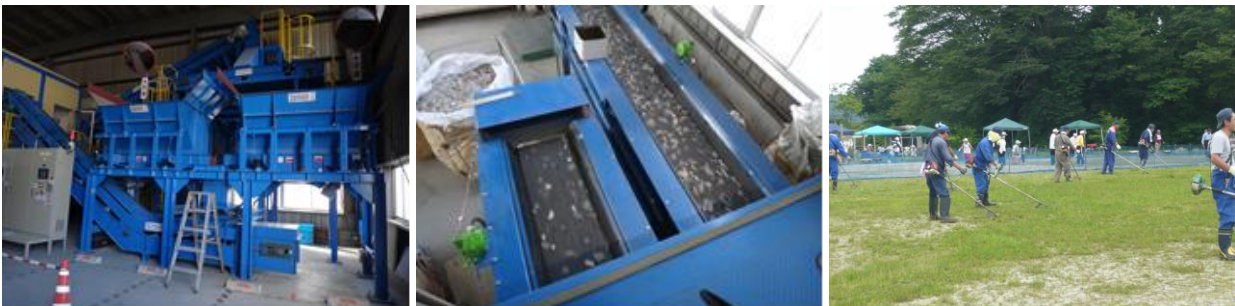
県南地域の環境活動に取り組む企業、環境団体、行政の情報をお届けします!!

### ■環境活動に取り組む地域の企業ご紹介

・ニッコー・ファインメック株式会社－岩手県初の小型家電再資源化事業所に認定－  
産業廃棄物・一般廃棄物処理業、くず再生業、貴金属の再生及び販売を主な事業として  
しています。環境取組として、太陽光発電の導入やエコドライブの推進、省エネなど  
によるCO<sub>2</sub>排出抑制の他、廃棄物のリサイクルによる資源の有効利用を推進し、持続  
可能な社会の構築に貢献しています。

平成26年2月に県内初の小型家電再資源化事業所として国の認定を受け、一般家  
庭から排出される携帯電話やデジタルカメラを始めとした小型家電製品のリサイク  
ルに着手しています。これらの家電からは鉄を始めとした金属や、金・銀などの貴金  
属、レアメタルなどを回収するだけでなく、これまで焼却や埋め立て処分されていた  
プラスチックについても、高度な選別作業により再資源化が可能となりました。

企業の社会貢献として、工場近隣のガードレールの清掃や公園の草刈りの他、環境  
報告会や工場見学を通じ、地域とのリスクコミュニケーションを図っています。



小型家電破碎物選別機

分別された基盤とプラスチック

アドプト活動による親水公園の草刈り

連絡先 TEL:0191-56-2601 URL <http://www.nikkofm.co.jp/index.html>

### ■環境活動団体のご紹介

#### ・NPO法人北上川流域河川生態系保全協会（一関市川崎町門崎）

一関市川崎町でモクズガニの人工ふ化と中間飼育を通じて、河川に生息する生物の  
生態系を守り育てるとともに、地域の子供たちと稚ガニの放流を行うなど、環境学習  
に協力しています。

県南地域では、モクズガニを使った「かにばっと」が郷土料理として親しまれてき  
ましたが、平成5年以降漁獲高が激減し、口にすることが難しくなりました。モクズ  
ガニの生息数回復を図り、昔からの豊かな食文化を守りたいと、有志で研究会を立ち  
上げたのがきっかけとなり、平成11年8月にはNPO法人北上川流域河川生態系保  
全協会を設立しました。モクズガニの人工ふ化、中間飼育は全く未知のところから始  
めたので、最初の1～2年は失敗の連続でしたが、試行錯誤の末に生産技術を確立し、  
飼育した稚ガニを北上川、砂鉄川、千厩川に放流できるようになりました。

ここ数年は東日本大震災で海岸線が被災し、親ガニの採取が難しくなったことや、春夏の急激な気温上昇で稚ガニがダメージを受けるなど、生産量が落ち込み苦労していますが、稚ガニをいっぱい増やして放流し、昔のようなモクズガニがたくさん取れる豊かな河川を未来に残すことを目標に頑張っています。



人工飼育施設



飼育した稚ガニ



放流の様子

連絡先 理事長 伊藤 靖一 TEL:0191-43-4338、FAX:0191-43-2449

### ・NPO法人北上川サポート協会（一関市川崎町薄衣）

北上川、砂鉄川、千厩川の三つの河川が合流する一関市川崎町は、川の恵みを受けてきたと同時に水害の常襲地として名高い地域で、治水事業が大きく叫ばれたころから川辺に親しむ機会が少なくなり、川は怖いというイメージだけになりました。

そんな「川のイメージの奪還」「川は私たちの生活の命の源でもあり大切にかけがえのないもの」「川に親しむ人たちをたくさん作ろう！」という思いが当協会の活動の出発点です。平成16年にNPO法人北上川サポート協会を設立し、一般向けに河川空間の積極的な活用と創造に関する事業や、流域の交流と連携及び地域の活性化を目的とした事業を展開しています。

カヌーの指導員やボートの操縦免許を持っている会員も多く、これを強みとして「川っ子祭り」を始めとした親水イベントの開催や他団体のサポート、一関市が開催するEボート大会の事務局運営などを行っています。また、当協会が指定管理業務を行っている北上川交流センター(川崎防災センター)には、国土交通省の河川調査船「ゆはず」が整備されており、委託事業として、「ゆはず」の運航業務も行っています。



北上川でのカヌー体験



川遊びに使う水鉄砲を作成中

連絡先 理事長 吉田 達男 TEL:0191-36-5666、FAX:0191-36-5667

URL <http://kitakamigawa-sp.iimdo.com/>



## ■イベント情報

### 企業よりー環境コミュニケーション報告会のお知らせー

地域に向けて環境保全に関する取り組みの紹介、環境関連施設の見学などを中心とした環境報告会を開催します。県内企業の環境取組をこの機会にぜひ見学してみませんか？

#### 北上地区

- ・岩手スリーエム株式会社（北上市北工業団地 3-17）  
日時：平成26年10月11日(土) 13：30～16：00（申込み締め切り10月3日）
- ・岩手東芝エレクトロニクス株式会社（北上市北工業団地 6-6）  
日時：平成26年11月11日(火) 13：30～16：00（申込み締め切り10月28日）
- ・シチズン時計マニュファクチャリング株式会社（北上市北工業団地 2-25）  
日時：平成26年11月13日(木) 13：30～16：00（申込み締め切り11月6日）
- ・Meiji Seika ファルマ株式会社北上工場（北上市北工業団地 3-3）  
日時：平成26年11月23日(日・祝) 13：30～16：00（申込み締め切り11月14日）  
申込みは花巻保健福祉環境センター環境衛生課 高橋（TEL：0198-22-4921）まで。

#### 奥州地区

- ・東京エレクトロン東北株式会社(奥州市江刺区岩谷堂字松長根 52)  
日時：平成26年10月15日(水) 13：30：～16：00（申込み締め切り9月30日）  
申込みは県南広域振興局保健福祉環境部環境衛生課 伊藤(0197-22-2831)まで。

#### 環境団体より

- ・地域でつながる環境活動の支援事業「森のリーダー育成」  
ー胆沢扇状地ふるさとの水源の森を訪ねてー  
胆沢ダム周辺の晩秋の森を観察しながら、水源の森について学んでみませんか？  
日時：平成 26 年 10 月 26 日(日) 8：50 集合（雨天決行）  
集合場所：みずさわ観光物産センターZ プラザアテルイ(奥州市水沢区西町1-1)  
申し込みは NPO 法人奥州・いわて NPO ネット（0197-22-4200）まで。  
イベント詳細は→ <http://npo.oshushi.com/index.php>



#### 県・振興局より

- ・いわて温暖化防止フェア 2014 ～つなげよう 未来へ～  
温暖化対策への意識向上を図るとともに、県内企業・団体等の活動の底上げを図ることを目的として、講演会、表彰および優れた活動事例の発表等のイベントを行います。  
日時：平成26年11月8日～9日(土・日)、場所：いわて県民情報交流センター（アイーナ）  
主催：温暖化防止いわて県民会議、岩手県地球温暖化防止活動推進センター、岩手県  
※詳細は県 HP に掲載予定です。

- ・eco チャレンジいわてに応募してみませんか？

「eco チャレンジいわて」は、岩手の皆さんの省エネ活動を応援するキャンペーンです。  
夏は、一年の中でも電力需要が多くなる季節。今年の夏も暑かったですが、すでに普通の生活に、省エネを取り入れられている方も多かったと思われます。応募者には抽選で 20 名様に岩手県産品詰合せセット、150 名様にエコグッズをプレゼントしますので、ぜひキャンペーンにご応募ください♪♪（応募締め切り 2014 年 9 月 30 日 必着）

詳細は→ <http://www.aiina.jp/environment/ecochalle/>

## ■環境これナニ情報

### \*\*\*\*\*小型家電リサイクルのお話\*\*\*\*\*

平成25年4月1日に資源の有効利用と廃棄物の適正処理を目的とした「小型家電リサイクル法」が施行され、回収体制の整備ができた市町村から、順次使用済み小型家電を回収し、再資源化認定事業所が金属などをリサイクルできるようになりました。

家電リサイクル4品目(エアコン、冷蔵庫、洗濯機及びテレビ)以外のほとんどの小型家電が回収可能で、県南地域でも多くの市町村が取組を始めています。ちなみにこの頃、無料回収をうたって軽自動車や空き地で不用品を回収する業者がありますが、その多くは無許可業者で、回収した家電を国内外で不適正に処理し、環境汚染の原因となるなど問題になっています。家に眠っている使用済み家電は、適正回収・リサイクルに出して、貴重な資源を有効活用しましょう!!

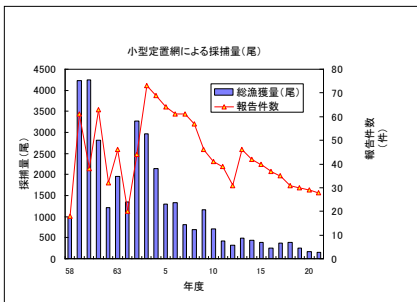
※対象品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村にご確認ください。



### \*\*\*\*\*少なくなったなあ．．．モクズガニ\*\*\*\*\*

県南地域の秋の味覚「かにばっと」。モクズガニを出汁にして、サトイモや大根、ゴボウなどを入れた汁に「はっと」と呼ばれるすいとんを入れた郷土料理です。

モクズガニはその一生のうち、海と川を回遊する習性を持っていて、海で生まれた



稚ガニが川を遡上し、そこで成体になるまで育ちます。秋になると成熟した個体は交尾のため川を下りますが、この時にカニ漁がおこなわれます。県内では旧花泉町から旧前沢町の北上川流域でカニ漁が盛んで、水産振興課が行った調査では、最盛期の昭和60年頃は4千尾を超えるほどの漁獲高を上げていました。その後急激に減少し、現在では年間数百匹程度の漁獲高となっています。

### \*\*\*\*\*ヒトスジシマカと地球温暖化\*\*\*\*\*

今年の夏は数十年ぶりにデング熱の国内感染が発生し、ニュースを騒がせたのが記憶に新しいところです。デング熱は特定の蚊によって媒介されますが、国内感染の原因究明のため国と自治体が行った調査では、東京都で捕獲されたヒトスジシマカの中にウイルスを保有しているものが確認されました。

ところでこのヒトスジシマカ、2000年に行われた調査では、岩手県一関市が生息北限でしたが、2010年に県の研究機関が実施した調査で、盛岡市まで生息域が北上していることが判明しています。ヒトスジシマカが生息するためには年平均気温が10.8度以上あることが必要ですが、近年の温暖化により、県内でもヒトスジシマカの生息可能な地域が広がっているのです。



写真提供：

岩手県環境保健研究センター 佐藤卓

発行：県南広域振興局保健福祉環境部【環境衛生課 伊藤】、NPO法人奥州・いわてNPOネット  
ご意見・ご要望・取り上げて欲しい情報などありましたら、下記連絡先まで!!

TEL 0197-22-2831 (内線280) FAX 0197-22-4106 メールアドレス BD0003@pref.iwate.jp